

平成 30 年度第 1 回 羽島市高齢者等施策検討委員会 会議録（要旨）

日 時	平成 30 年 5 月 29 日（火） 13：30～14：40
場 所	市役所本庁舎 4 階 第 1 会議室
出席者	委員：浅野満委員、田中吉政委員、後藤真澄委員、嵯峨崎守康委員、河合悟委員、林良三委員、岩田稔委員、山田郁子委員、杉田昌利委員、安部純夫委員、坂井田嘉代委員、上田祐之委員、木田宏之委員、野々村千恵子委員、渡辺敏隆委員、浅野洋子委員、小島美登子委員（欠席：松下光子委員） 事務局：松井羽島市長、石黒健幸福祉部長、小川高齢福祉課長、八島介護業務係長、足立高齢福祉係長、浅井介護施設係長、番主任
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 新任委員の紹介 新任の委員である嵯峨崎委員、松下委員、浅野（洋）委員、小島委員を事務局より紹介。</p> <p>4. 議題</p> <p>（1）会長、副会長の選任について 浅野（満）委員を会長として、田中委員を副会長として選任。</p> <p>（2）各種専門部会の設置等について 事務局が資料 1－1、1－2 に基づき、新たに設置する高齢福祉施設運営委員会について説明。 質疑・応答 質問、意見等なし。</p> <p>（3）第 6 期高齢者計画の平成 29 年度実績報告について 事務局が資料 2－1、2－2 に基づき、平成 29 年度の実績について説明。 質疑・応答 委 員：資料 2－1 においてチェックリスト対象者の実績値が 31 人とあるが、これは平成 29 年度にあがったということな</p>

	<p>のか。また、同資料において総合事業の受給者数が多数計上されているが、この全員に総合事業対象者としての被保険者証を交付しているのか。</p> <p>事務局：チェックリスト対象者のほとんどの方が通所型サービスCの対象者であり、総合事業受給者数が多いのは、要支援1、2の方が総合事業へ移行したためである。</p> <p>委員：従前の要支援1、2とチェックリスト対象者の合計が総合事業の受給者数ということか。</p> <p>事務局：はい。</p> <p>委員：総人口について、平成27年度から平成28年度は65人の減少だが、平成28年度から平成29年度は399人減少している。減少数が大幅に増えた理由はあるのか。</p> <p>事務局：把握していない。</p> <p>(4) 第7期高齢者計画の平成30年度事業計画について 事務局が資料3に基づき、平成30年度の実績について説明。</p> <p>質疑・応答</p> <p>委員：在宅医療介護連携事業について、平成29年度まで県の補助事業であったのが、平成30年度から市町村が実施主体になるとのことだが、事業が小さくなるといったことはあるのか。</p> <p>事務局：予算規模は小さくなっているが、事業としては継続していく。</p> <p>委員：認知症初期集中支援チームについて、昨年度の実績と評価を説明していただきたい。</p> <p>事務局：包括支援センターに認知症の相談に来られる方は、自身で病院に行ったり、介護認定の手続きをする場合が多いため、訪問までいかない。そのため件数は少ない。国が示している基準で実施している県内の他市町村でも実績は数件あるいは0件であるため、どのように実施していくのか検討しなければいけないと考えている。</p> <p>委員：全国で成功している事例があればそれを参考にするしかないが、ないのであれば、県を通して国に現場の声を上げなければいけない。</p> <p>委員：地域ケア会議は何例あったのか。</p> <p>事務局：事例としては1例であるが、認知症が進行した独居高齢者</p>
--	--

	<p>に関するもので、内容が多岐にわたったので2回になった。困難事例は対応が難しいので、様式の簡素化等について検討していく必要があると考えている。</p> <p>委員：在宅高齢者の訪問介護で対応に苦慮している事例があると聞いているので、そういうのを地域ケア会議で検討するといい。</p> <p>(5) その他</p> <p>事務局が地域包括支援センターの増設について説明。</p> <p>質疑・応答</p> <p>委員：何年ぐらいから3箇所にするのか。</p> <p>事務局：圏域の見直しの関係もあるため、第8期開始を目途に進めている。</p> <p>事務局が資料4に基づき、特別養護老人ホームの整備について説明。</p> <p>質疑・応答</p> <p>委員：全て平屋ということか。</p> <p>事務局：木造の平屋建てである。駐車場は南北に縦長で、西側に水路があるため水路橋をかける。建物は南側から3ブロックにわけて建設する。</p> <p>事務局が資料5に基づき、羽島市老人福祉センター羽島温泉の利用料金について説明。</p> <p>質疑・応答</p> <p>委員：混雑を緩和するため市外の方の利用料金を上げるのか。</p> <p>事務局：一番の理由は老朽化対策の修繕費用の確保である。混雑することについては、利用者から意見をいただいている。</p> <p>委員：料金を上げるのは、修繕の財源確保と市内高齢者の利用促進のためということでしょうか。</p> <p>事務局：はい。</p> <p>委員：羽島温泉を利用している方の意見はどうか。</p> <p>委員：私は200円から100円になるので助かる。羽島温泉は高齢者の健康維持やふれあいの場としてとても良い場所だと思う。老人福祉センターの浴場は常連の方が多く入りづらいので羽島温泉の方が利用しやすいが、バスの時間が合わないので老人福祉センターを利用するという意見もある。</p>
--	---

	<p>る。</p> <p>委員：建設から40年経つが、お湯は出るのか。</p> <p>事務局：1号泉、2号泉ともに温泉水は上がってきて、それを沸かしている。</p> <p>委員：全面改修することは考えているか。</p> <p>事務局：老人福祉センターも老朽化しているため、今年度2つの施設について調査を委託して、大規模改修の費用、新設の費用等を把握して今後どのようにしていくのか高齢福祉施設運営委員会で検討していく。</p> <p>委員：料金を上げたら市外の利用者は減るか。</p> <p>事務局：値上げすると安八の方が安くなるので、そちらに行くと考ええる。</p> <p>委員：祖父江等、川の東の方は安八までは行かないのでは。</p> <p>事務局：祖父江にも温泉があり、そこは200円半ばぐらいだと記憶している。</p> <p>委員：検討する時期はいつごろか。</p> <p>事務局：今後、老人クラブの会長会や民生委員の会議、敬老会実行委員会等の場でお話をしていきたい。また、平成31年4月から値上げをするのであれば、周知期間等を含めて9月議会には上程しなければいけないと考えている。今後皆様の意見を聞きながら上程できるように準備を進めていく。</p> <p>5. 閉会</p>
--	---